

おかげさまで、

全米桜まつり&NYカーネギーホールコンサート大成功！！

【4月14日:ワシントンDC桜まつり】

【4月16日:NYカーネギーホール】

ご縁を頂きましたみな様に
ご報告申し上げます。

今年、足立の荒川堤の五色桜並木の穂木から作られた苗木が、日本を代表する桜としてアメリカへ贈られて、100周年です。ワシントンの街には、「友桜100年」のロゴ入りフラッグが、いたるところに掲げられていました。

全米桜まつりの議長は、ミッシェル・オバマ大統領夫人が務められて、桜交流100周年を国をあげて祝っている様子が窺えました。私たちは、「日米桜交流100周年記念市民交流実行委員会」（実行委員長：田口芳子 足立区合唱連盟理事長）のもとに、150人が参加して、

**日米平和と友好の桜100周年記念
ワシントン桜祭り &
NYカーネギーホールコンサート
東日本大震災支援に感謝をこめてー**

と題して、ワシントンでは、国立シルヴァンシアター（野外音楽堂）でコンサートと、足立区長・議長のメッセージを発表しました。100年前の桜寄贈は、ワシントンと同数の桜の苗木が、ニューヨークにも贈られ、セントラルパークをはじめ、ハドソン河畔などにも植えられました。併せて「SAKURA PARK」も生まれていることから、ゆかりのNYにあるカーネギーホールで、『足立の五色桜物語』



【写真上】:五色桜の由来と日米桜100周年のご挨拶
を掲載したカーネギーホールステイジビル

【写真右上】:ポトマック公園野外シアターで合唱
足立の五色桜物語の歌

【写真右下】:健康銭太鼓

（作曲大西進、作詞浅香孝子、高野美代子、大久保美智子）を歌いました。その一部は現地男声コーラスグループ「ウエストチェスター・コースメン」がジョイントしました。

第2部では足立の地元健康銭太鼓のグループ（山崎節子家元）やオカリナ演奏（江波太郎）、フルート独奏（平田公弘）に続き、コーロフェニーチェ（田口芳子主宰）のミュージカルス「ウエストサイドストーリー」などを披露し、大喝采をいただきました。特にウエストチェスター・コースメンとの合同で歌った「ニューヨークニューヨーク」（田口芳子指揮）では、およそ2,000人の観客が総立ちで、拍手が鳴り止まないスタンディングオベーションに沸いて、参加者も感動の笑顔・・・、涙・・・、涙・・・の素晴らしい体験をさせていただきました。ありがとうございました。

カーネギーホールは、メディアでの公開は厳しく制限されていますが、NHKが直接取材申し込みをしていただき、内部の取材が許されて、4月17日20:45（日本時間）の首都圏ニュースで放映されました。



足立よみうり2012年5月16日

五色桜物語合唱団と銭太鼓

カーネギーでブラボー!

総立ちで鳴り止まない拍手

4月16日夜半、NYのカーネギーホールは聴衆

のスタンディングオベーション(満場総立ち)でわいた。いつまでも鳴りやまない拍手の風は、終演後の出演者を路上まで追いかけて、称賛と感謝を繰り返した。

出演者は、五色桜物語合唱団と銭太鼓等を率いる「日米桜交流100周年記念市民実行委員会」(田口芳子実行委員長、足立区合唱連盟理事長)の136人。田口氏が主宰する合唱団「コーロフエニーチェ」も参加した。



スタンディングオベーションが起きたカーネギーホールでの日米合同コーラス。指揮は田口芳子氏提供-緑エムセック インターナショナル



観客にThank You Strapのことをライオンズクラブの方が、紹介しました。

披露した後は、日本舞踊や銭太鼓の伝統芸能が舞台を華やかに彩った。田口氏が指揮し、コーロフエニーチェと現地の男性コーラスグループ

披露した後は、日本舞踊や銭太鼓の伝統芸能が舞台を華やかに彩った。田口氏が指揮し、コーロフエニーチェと現地の男性コーラスグループ

「ウエストチェスター・コーズメン」が合同で歌ったミュージカルスウェストサイドストーリー「ニューヨーク、ニューヨーク」では、客席が総立ちでいつまでも拍手が鳴りやまなかった。田口実行委員長は「NYの人たちの温かな心にふれ、感激しました」。合唱団等の文化交流を裏方で支えた佐々木一彦氏(元足立区教育長)は「五色桜の歌をはじめ、日米の合唱団が合同する歌や銭太鼓を絶賛する聴衆を、客席で間近にみてこれぞ、真の日米親善交流」と涙が止まりませんでした。おかげで五色桜の足立を十分にPRすることができました」と出演者および陰で支えたスタッフの労に感謝した。

日本は、昨年の3・11の震災・津波の際にアメリカから多大な支援をいただきましたので、私たちのコンサートは

東日本大震災支援に感謝をこめてを副題にしました。その気持ちを、『Thank You Strap「心柱」』にこめて、会場の皆さんにお贈りしました。会場では、義捐金(\$6,721)が寄せられました。これは、現地ライオンズクラブから総額を直接被災地にお届けいただきました。

五色桜は、江戸の大名屋敷～荒川堤～米国へ寄贈～返礼のハナミズキ～ふるさとの桜絶滅～米国からの里帰り・レーガン桜～平成の五色桜へ と長い歴史を経て数々のドラマを誕生させました。

五色桜をめぐる人間ドラマを「心の宝」として贈りたいと活動して9年になります。桜をテーマに先人の熱い想いに触れ、市民交流の契機になって欲しいと願っています。

心柱(こはしら)プロジェクト

心柱は五事者の中心の柱の意味で、今回の震災でも倒れず、折れず、柔軟な身のこなしで震災をかわしたことにあやかり、被災地住者の柱が再利用され、この木の木に思いを込めて、被災地の方々と共有する木柱であると共に、このプロジェクトが被災者の心「心の柱」となることを願うものです。そして売上が自費製作者の手元に届くように地元ボランティアと協働のプロジェクトにしました。

どうか会場の支援の輪をながく広げてくださいませ!

協賛 石巻市復興を考える市民の会
岩沼市 がんばっと!!玉浦
企画 NPO法人 地味の芽生え21



【この事業は以下の団体様のご協力を頂きました。】(敬称略)

協賛:ライズアップ(株)
三黒製菓(株)

後援:外務省(在米日本大使館、
在ニューヨーク総領事館)、
足立区、
財団法人尾崎行雄記念財団
NPO法人日本文化体験交流塾

皆様のご支援に深く感謝申し上げます。

大久保 美智子
(NPO法人五色桜の会理事長)
(2012年 7月 30日)

この趣旨を英訳したカードを添えてパッケージしました。